

バーからの情報発信をサポートする、HIV／エイズの最新リソースマガジン [とまり木]

# TOMARI-GI



情報アップデート1

**ボラ団体の目的はな～に?**

座談会

**ドラッグと酒、そしてエイズを  
クラブから考える**

情報アップデート2

**メンタルヘルスとHIV**

冷蔵庫メモ

**スタープリントライブボクサー**

**慈恵医科大学付属病院**

**かながわレインボーセンター SHIP**

話題のカクテルラウンジ

**イベント、新パンフレット、アクション ほか**

## 第2号

2009 SPRING | 季刊・年4回発行



## 「告知後の一週間」 Y

僕には、とても大切なゲイバーのマスターがいます（普段、ママと呼んでいるので、ここでもママと呼ばせてもらいます）。二十歳のころ、初めて行ったお店で知りあい、その後、彼がお店を出して僕が飲みに行くようになって、もう五、六年のつきあいです。自分のことはなんでも話せ、ママの家にも遊びに行ったりして、二十歳のころからの僕を、ずっと見守ってくれています。その僕が、保健所の検査でHIVに感染していることがわかりました。二十四歳でした。

検査の結果を聞かされて、僕はショックで途方に暮れました。ともかく誰かに話さないと自分がどうにかなりそうです。保健所の出口で電話をしたのが、ママでした。

「HIVの検査を受けたら、……引っかかっちゃった」と言ったところで声が詰まりました。ママも「とにかくいまから家へ来な」と言い、僕はママの家に直行しました。

検査を受けようと思ったきっかけや、それまでの僕のセックスのこととか、洗いざらい打ち明けました。すごく気持ちが悪落ち込んでしまつて、話しながら涙が止まりませんでした。でも、ママはそんな僕を突っぱねることも叱ることもなく、「なったものは仕方がないよ」「お客さんのなかにも、じつは何人かいて相談されたこともある」「これからは人に移さないような生活をして」って、いろいろ話してくれました。「落ちついて、自殺なんかしちやダメ」なんて言われたけど、よっぽどその時の僕は、落ち込んでいたんでしょうね。ともかく動揺して、こんなこと話せるのはママだけだったんです。

それからの一週間は、毎日、ママのお店で夜を過ごすし

HIVポジティブの人が書いた手記をお届けします。 front message

た。家にいると落ち込んでしまつて、でもそこへママからメールや電話が来るんです。「お店へおいで」「お金なんかいらさないから、ともかくおいで」つて。まるで落ち込んでいる僕が見えてるみたい。

お店に顔を出すと、病気のこと忘れ、お客さんとお話をしている自分がありました。僕の性格を知つたうえでの気遣いに、すごくうれしく感じ、とても支えられました。

そんなことがあつて三年。いまは僕もけっこう落ちつき、まあと同じように飲みに行けるようになりました。ママとたまにはご飯を食べに行ったり。そんなときでもべつに病気のことを詮索するわけでもなく、「身体どう?」と聞くだけです。

感染がわかつてしばらくして、お礼を言いました。「助かりました」つて。そうしたらママは、「なんかあつたら、なんでも自分に相談しな」「絶対ほかの人には言わないし、支えになるから」つて。

ママ、これからもどうぞよろしくお願いします！



今夜も一杯、  
まぼろしバーで



第二回

ボラ団体の  
目的はな〜に？



大御所ママ(マスター)

呑太(客)

「戦略研究」が  
始まった

呑太 ママ、その隅にある「とまり木」って冊子、なあに？

大御所ママ あ、これね。今度ね、あたしたちお店のマスターとか店子向けに配布されてきたH I V / エイズの雑誌よ。

呑太 ふ〜ん、プロ向け、ってことね。

大御所ママ プロ向けはよかったわね(笑)。なんでも「エイズ戦略研究」というのがお国のほうではじまってる、この「とまり木」も、その研究費を受けたボランティア団体が作って

配布しているんだって。

呑太 おいらいつも思うんだけど、こうしたエイズのボラ活動っていっぱいあるみたいだけど、「エイズ流行ってます、増えています」「ゴムつけましょう」って言うだけなら、もうこれ以上いいんじゃない？

大御所ママ この「戦略研究」って、それとはちよとと違うみたいよ。

呑太 へえ、じゃあななが目的なの？

大御所ママ じつはね、このあいだバ〜のママさん向け説明会があつて、あたしもヒマだったから行ったのよ。で、この戦略研究って目標が二つあるんだって。ここにそのときもらった資料があるわ。

香太 二つ?!

**大御所ママ** 一つはね、「HIV検査を受ける人をいまの2倍に増やす」、もう一つは、「はじめからエイズ発症と診断される人を、いまより25%減らす」。

香太 どういうこと?!

**大御所ママ** ホラ、自分から検査を受けに行く人なんて、まだまだ少ないでしょ? それをいまの2倍に増やせたら、自分の感染に気づける人もそれにともなつて増えるわけじゃない。そうやって早く気づけたら、知らないうちに悪くして病院へ行つて、いきなり「エイズ発症です」と言われる人も減るでしょう? それが二つ目の目標。いくら薬が発達したつていても、発症までいつてたら、手がつけられないつてこともあるからね。つまりね、この二つはおなじことを数字の目標をあげて二通りに言つたもの、というわけね。

そして、この目標を達成するために、「首都圏のゲイやバイセクシュアル男性に毎年、効果的なメッセージを発信するにはどうするか?」ということを研究するのが、この戦略研究というプロジェクトなのよ。

香太 メッセージの発信?!

どうやったたら検査数は増やせるか?!

**大御所ママ** 検査を受ける人を2倍にするつたつて、どこで、いつ検査やつてんのかとか、お金はかかるのか無料なのか、もつと知らせないとダメよね。あと、検査に行つてもあたしたちゲイやバイの人が変な目で見られたりするつておかないよう、検査所の職員にも研修しておかなきゃ。なににより検査に行つてよかった、トクしたつて感じがないと、フツー行かないでしょ。

香太 そうだな、おいらも「知らない」「メンドウ」もあるし、正直「怖い」つて気持ちもあるもんな。だからこの3年、検査行つたことないし……。  
**大御所ママ** でも、セックスはしてん



2007年度には、ゲイ雑誌にメッセージ広告や別冊付録をつけました。

でしょ。

**呑太** 人並みにはね。

**大御所ママ** まあ！ ポーっとしても、やることはしつかりやってんのね笑。そんなあんたを、「オレもときには検査受けよっか」という気にさせるには……。

**呑太** そうだ！ 毎年の会社の健康診断のときにHIV検査も加えて、国民全員がかならず受けるみたいにしよう。

**大御所ママ** あんた、どうやらウイルスが脳に回ったみたいね。もし感染してて、会社の健康診断でそれがわかったら、そのあと何が起こると思って？

**呑太** あっ、……それはヤバいかな。

**大御所ママ** 感染を理由に解雇なんかしたら法律違反もいところだけど、なにかとメンドウはメンドウでしょ。それにHIVの検査キットつけてこう高くて、国民全員になんかやっつけられません。医療費、パンクよ。検査は、「自分が必要な」と思う人が自分から行ってくれるのが一番いいんだけど……。

**呑太** それはどうすればいいか。なるほど、こりゃ「研究」の名に値するね。

**大御所ママ** 新しく情報ホームページを作ったり、ゲイが集まるクラブイ

ベントに出かけてパンフレットを配ったり、あと、この「とまり木」みたいに、お客さんと接するあたし達向けの雑誌を作つて、こうやってカウンターからお話する話題にしたりね。これつて、研究とは言いながら実際の予防活動にもなってるのよね。

## ボランティアでも 甘えは許されない

**呑太** どうやら大掛かりなプロジェクトみたいだね。

**大御所ママ** これも資料に書いてあんだけど、戦略研究つて、ガンとか糖尿病とか、いろいろなテーマで重点的にお金をかけて結果を出すもので、エイズには平成18年から5年間で、1年に3億円のお金がかけられることになってるんだつて。

**呑太** サ、サンオクエン？ 合計15億円でこと？

**大御所ママ** 途中のいろいろな経費もあつて、現場で使えるお金はその6割ぐらいで、それをノンケ対象の研究とゲイ対象で半分にして、さらにいくつかのグループに配分するから、首都圏のゲイにはそんなに目を回すほどのお金じゃないらしいけど、お国

のほうも、エイズ、とくにゲイ・バイ男性の問題を緊急だと思っっているってことよね。

**呑太** それだけのお金、どこへ流れていくんだろお。

**大御所ママ** ほーら、お金と聞いて、また嗜好きのオカマの血が騒いでるみたいね(笑)。もちろん冊子作りやキャンペーンにはお金がかかるし、5年間にわたってプロジェクトを進めるために何人かがスタッフということで採用されて、調査やコーディネート、事務にあたるってそうよ。

**呑太** でも、その人たち、ボランティアなんだろう？ お金なんかもらわないうで、無償でやるべきじゃないの。

**大御所ママ** たしかにまだまだ日本では「ボラ活動は無給」「非常利活動で金もうけなんて！」って言われち



すぐに役立つ情報サイト「HIVマップ」も、戦略研究で制作されました。http://www.hiv-map.net/

やう。でも、それなりの時間をエイズの活動にあてるのであれば、無給のままでは活動なんてだれもできないわね。それに、非常利活動って、私も誤解してただけど、「利益が出てもそれを分配してはいけない」ってことなのよ。

**呑太** どういうこと？

**大御所ママ** 会社なら、利益が出たら株主に配当するじゃない。非常利活動は、配当はしない。だからといって赤字出していいわけじゃないわ。配当がない以外は、普通の会社とおんなじよ。きちんとした仕事をしようとするなら、それなりに経費や人件費もかかるわけ。5年間の有期雇用だけ。

**呑太** そりゃそうか。

**大御所ママ** むしろ会社と同様、きつちり結果を出さなきゃいけないわけ、ボランティアだからという「甘え」は逆に許されないの。「一般企業がやらない分野を、非常利団体という名前の別の組織がカバーして、その利益の配当を受けるのはあたしたち社会のみんな、ということかしら。

**呑太** 戦略研究にたずさわっている人も、その点はけっこうシビアに頑張ってたね。

# ドラッグと酒、 そしてエイズを クラブから 考える

クラブ・キャンペーンを振り返って

クラブ来場者に配られた冊子「This is hope」には、ドラッグやアルコール依存に悩んだゲイたちの声がつづられていた。この問題をはじめ「テーブルの上に乗せた」という今回のキャンペーンは、今後どう広がっていくのか。

## 52イベントで、 6700セットを配布

—— 昨年11月末から今年の1月にかけて、「戦略研究」のひとつとして「クラブ・キャンペーン」が行なわれました。まず、コーディネーターのちよつさんからその紹介をしていただき、つづけてみなさんの自己紹介をお願いします。

**ちよつ** 首都圏の、のべ52のイベントにご協力いただき、クラブへ来た人グッズの配布をしました。聴覚障がい者、依存症、年齢別のHIV陽性者の手記、そしてエイズの基礎知識の4つの冊子と、昨年はキース・ヘリング生誕50年で、キースはゲイでエイズであることをオープンにしていたアーティストですが、NYのキ



ース・ヘリング財団のご協力でキースのイラストを使ったコンドーム、それらをセツトにして約6700配布しました。

**はじめ** 僕は映像とデザインの仕事をしていますが、今回、クラブで流す映像の制作をしました。映像はキースのイラストがつきつき流れてくるもので、「キースの頭の中をのぞいてみる」(笑)がコンセプトでした。

**WARA** 僕も制作物のデザインと、あと大晦日に渋谷でこのキャンペーンのメインパーティーをしたのですが、NYのゲイナイトの始まりと言われ、かつてキースも遊んだパラダイス・ガラージというクラブから、当時金曜を担当していたデビット・デピノというDJを招いて、僕もその企画やDJを。

**ジャンジ** クラブキャンペーンの事務局として、オーガナイザーさんとの連絡調整や配布スタッフの手配、また現場のコーディネートと実際の配布作業全般に携わりました。

**生島** 戦略研究全体の事務局で、HIV陽性者への支援などを行なっている、ぶれいす東京の相談員です。

## かくしテーマは 依存症とエイズとの関連

——今回、ドラッグなどの「依存症」をテーマとする冊子を、HIV啓発のなかで配ったことは、これまでにないことだったと思います。

**生島** 私たちがいろいろ相談を受けていると、近年、HIVと薬物依存の問題を抱えている人の話が出るようになり、そこにクラブシーンが関係している印象がありました。クラブがクスリの温床だと言う気はさらさら無いけど、いまクラブに来る人に、薬とかでホントに大変になった人の声は届けたいなと思っていました。

**はじめ** クラブって、広いスペースでいろいろな人に一気に接する場。よかれ悪しかれ、うわさ話やモノが広がるのも早い場所。そういうところでだれかがドラッグについてきちんと道しるべ的なことを伝えた点で、今回のキャンペーンは有意義だったかな。

**WARA** クラブは人恋しかったり、寂

しかったり、そういう人が集まるころだと僕は思っていて、だからみんなハメはずす。とくにゲイは平日はなにかしらウソをつけて生きていかなくちやならなくて、週末は現実を忘れたいということもあって、そこにちよとイケナイものも入ってきて(笑)。でも、ゲイナイトをやっている側は、みんななにか抱えてこへ来てるんだらうなということはおわかつてやっいて……だから「層メッセジ」の出し方も工夫が必要。

**ちよう** ドラッグのことって、「合ドラ」も含めて、みんななにかしら経験していたり知人にいたりしても、表立ったころでは語りにくい雰囲気があったと思う。その一方、だれかをおとし貶めるのに、「あいつシヤブ中」とか平気で言うじゃない。その状況を変えないと話もできないというか、この問題をきちんと机の上に乗せたいという気持ちがあった。

**ジャンジ** こうして冊子になって差し出されたことで、これは話していいことなんだ、誰にでも起こりうることで、現実を悩んでいる人がいるんだ、でもここへ繋がる方法がある、とオープンになった感じがしましたね。

**生島** そんな雰囲気生まれるのは、キャンペーンの効果だよな。

**WARA** クスリの依存症とかメンタルヘルスの問題は、僕は定義とかよくわからないんですけど、こうやって文章で見ると、「こういうことがあると幸せにな

**状況を变えなないと話もできないというか、この問題をきちんと机の上に乗せたいという気持ちがあった。(ちょう)**

れないのかな」ということはわかってきて(笑)。でも、これまでゲイ雑誌には載らなかった話ですよね。体験談読むと、意外に身近にありそうな話ばかりなのに。**ジャンジ** そこで「ダメ、絶対」みたいなお説教じゃなくて、依存に悩む人もいて、でもここへ繋がろうよ、というスタンスがよかったかな。私ならダメって言われてもやめようとは思えないだろうし、否定されたと感じた人は口を閉ざしてしまっただけから。

## クスリも酒もHIVも、 全体でからめて語る

——今回のキャンペーンを、これからどうつないでゆきますか？

**生島** ぶれいす東京へ、「クラブでもらった資料を見て」と言っただけです。すでにHIV陽性の方がすでに複数います。予防を呼びかける冊子に、すでに感染した人へのサポート情報も一緒に載ることで、行動を変えたりアクセスする人がいることは新鮮な喜びでした。僕はすでに陽性になった人と接するわけだけども、陽性者以外でも影響を受けた人はいらんじやないかな。

**ジャンジ** その場で真剣に読んでる人とかいましたよね、踊りを忘れて(笑)。

**はじめ** ドラッグの問題は、はじまりは

アルコールから、と聞きました。今回クラブを舞台にドラッグや依存症とエイズの問題をキャンペーンしたわけですけど、アルコールの問題は当然、バーのみなさんにも知ってもらいたいことですよ。**ジャンジ** 最初、オーガナイザーさん向けにHIVとドラッグにまつわる現状の報告会を開いたんですけど、お店のママをやりつつパーティーもやってる人のなかには、こういう情報提供をお店関係者向けにもやってほしいと言う人もいました。



クラブキャンペーンで配布されたセットと、大晦日のメインパーティー

ここが知りたい  
セックスと健康

2

メンタルヘルスとHIV

セックスで移る病気であるHIV感染症は、ウツやさまざまな依存症などメンタルヘルスの問題とも深い関係のあることが近年、注目されるようになりました。

ゲイやバイセクシュアル男性のメンタル面について、京都大学大学院の日高庸晴さんたちのグループが、1999年から隔年でインターネット調査を行なっています。過去4回、のべ1万5千人以上が参加したアンケートのさまざまな質問から、ゲイ・バイ男性の性行動とともに、「ノンケを装うことのしんどさ」「学校時代のいじめや孤立感」など、そのメンタル面が浮き彫りになりました。調査参加者の65%が自殺を考慮、15%前後が自殺未遂の経験があり、ほかの回答者とくらべて「精神的ストレスが強い」人は2.1倍、「ホモ・おかま」など言葉によるいじめにあった人は1.6倍、自殺未遂をしたことがあるとの回答も得られています。

また、ゴムを使わない人は、セックスの相手との関係性をセーフセックスよりも優先するとか、ゴムが相手との親密さを阻害すると思っているからではないかと言われてきましたが、そうした心理を感じると答えた人と感じないと答えた人とは、明らかに前者のゴム常用率が低いこともデータで確かめられました。ゴムの使用率をあげ感染を減らすには、こうした心理的理由をふまえたメッセージ発信の仕方をより一層、工夫する必要があるのかもしれませんが。

ゲイであることがまだまだオープンにづらい日本では、心にさまざまな負の側面を抱え込まれていることを踏まえて予防のメッセージを伝えたり、検査や医療の体制を作っていく必要があるでしょう。同時に私たちのほうでも、メンタル面の不調に気づいたときには、精神科やカウンセラーへ積極的に受診することが大切です。ゲイに理解のある医者や専門家も、増えています。

(監修:日高庸晴, REACH Online: <http://www.gay-report.jp/>)

**はじめ** 僕思うんですが、HIVだけ切り離すんじゃないかって、酒や薬、セックス依存など全体でからめて話すほうが、むしろ僕らのリアルさに近づき、わかりやすいんじゃないですか？

**WARA** やつている渦中は手応え的なものはわからなかったけど、終わったあとの反応をいま生島さんから聞いて、またがんばろうと思いました(笑)。

**ちよう** 今回は、こちらからパーティーに出かけて「お願いして配らせてもらう」感じだったけど、パーティーの側から、

うちのパーティーの特色出したいからパンフレットやゴム提供してくれたりドアボーイたちに配らせるよとか、ショートタイムにちよつとなにかやらない？ とか、フレイヤーに情報載せていいよとか、そんなふうに僕らを使ってくれたら嬉しいんだけど。

—— パーの人も、そうやってボラ団体を使ってくれたらいいですね。今回、HIVの語り方がひとつ広がったような気がします。ありがとうございます。



つがつまみ  
出したの  
は、コン  
ドーム!

## スタープリントトライブボクサー

【こんなんでました】セーファーセックスが楽しくなる新商品の紹介です。

N 区某公園、午前三時。さっきから気になるスト系キャップ。グレーのスエットにワイークフーツが超エロい。モーションかけると回ころもOKで、トイレへ連れ込む。オレはやつのまえにしゃがみこむ。スエットに手をかけ一気に下ろすと、イカすアンダー穿いてやがる。オレは思わずもっごりに口をつけた。「E」もっごり部分になにかが入っている。しゃがんだまま見上げたオレに、やつはニヤリと微笑んだ。股間の内側にポケットがあり、そこからやつがつまみ出したのは、コンドーム!

「やる気っすね。オレは思わずつぶやいた。夜明けまで、熱い夜の幕開けだ。」

たじろい、コンドームポケット付きアンダーが「GOOD MEN WEAR」と「TRIVIE」から登場しました。ゲイに人気のGMWのデザインで、勝負下着としては言うことなし。これでゴムを仕込んでおけばいつも途中で「使って」と言い出さなくて困っていたアナタも安心です(笑)。ブルー、グレー、オレンジの三色に、SからXLまで豊富なサイズ。現在、[gaydvd.jp](http://gaydvd.jp)で先行発売中!

「KEEP YOUR LIFE」のバックプリントもメッセージ性バッチリ!



ブルー・グレー・オレンジ 税込み3,700円  
購入・問合せ: ☎03-5367-6367, <http://www.gaydvd.jp>



## 冷蔵庫メモ

お役に立ちます

キッチン冷蔵庫に貼付けた切り抜きのようにすぐに役立つ知得情報をお届けします。

【ドクター登場】ゲイが安心してかかれる病院を紹介しします。  
**リーマンの街・新橋の、土曜もやってくるエイズ拠点病院**  
**東京慈恵医大付属病院**



リーマンの街・新橋に、ジケイの通称で親しまれる東京慈恵会医科大学付属病院があります。この病院の感染制御部では、現在約170人のHIV感染症の患者さんを診ています。じつはここ、土曜日も診療を行なっているのです、働き盛りのリーマンのためでもとても通いやすいエイズ拠点病院なのです。

この慈恵で、2003年ごろからエイズ診療の中心の一人となっているのが、吉田正樹先生。日本でエイズが始まった80年代、研修医時代から患者さんのおつきあいがあつていきました。その実直な口ぶりからは、ゲイもソングもわけへだてない、安心できる診察場面が想像されます。

【ドクターから一言】  
 慈恵医大の創始者・高木兼寛先生は、「病気を診ずして病人を診よ」と教えています。ゲイのことでもなんでもオープンに話してくだされば、そこにから隠れている病気に気が

づけることもあります。私たち医師一同、偏見や差別なく、最良の医療を提供することを第一としていきます。



吉田先生の担当は  
 月水士の午前と金の午後。  
 港区西新橋3-19-18 ☎03-3433-1111  
<http://www.jikei.ac.jp/hospital/>

【スペースへ行こう】無料フリースペースの知っ得情報です。

横浜にもある  
**フリースペース**  
**かながわ**  
**レインボーセンター**  
**SHIP**

横浜西口・徒歩7分に、ゲイの人が無料で使えるスペースがあるのをご存知ですか？港町らしく、その名はSHIP。野毛のゲイバー街を中心にHIV啓発を続けてきた「横浜

Cruiseネットワークが、神奈川県ポランティア基金の助成を受け、県との協働事業として運営しています。

自由に使えるテーブルや資料など、フリースペースお決まりの設備ももちろんですが、SHIPのセールスポイントは、「HIV・梅毒・B型肝炎」無料迅速検査（月2回、予約制）や、心理カウンセラーによる無料相談が受けられること。とくに3種まとめての迅速検査

は他にはなく、SHIPは休館の日を受けられて他の利用者に顔も見られず、もちろんその場で結果もわかるので超クッド。県外からの受検者もいるそうです。

横浜方面からのお客様に、またお買い物やデートのついでに、ぜひ紹介・立ち寄りしてほしいスペースです。

横浜市神奈川区台町14-2  
 ビレア台町2F  
 水・金・土：16:00～21:00  
 日曜・祝日：15:00～18:00  
 ☎045-306-6769  
<http://ship.y-cru.com/>



## 依存症とHIVの問題を問いかける 新パンフレット「This is hope」

本誌7ページからの座談会でもお伝えしたように、クスリやアルコールの依存とHIVの問題の関連が、最近、知られてきました。そのことを少しでも多くの人に伝える冊子、「This is hope」が発行されました。

この冊子では、クスリやアルコールなどの依存症に苦しんだ、ゲイをはじめとするセク

シュアルマイノリティのひととの体験手記と、この病気についての基礎的な知識、そしてさまざまなリソース(情報)が紹介されています。

ぜひ、ご覧になってください。

問合せ:akta (tel:03-3226-8998,  
16:00~22:00)



## 【話題のカクテルラウンジ】 the cocktail lounge of topics



### 新橋の慈恵医大で、毎週土曜日 検査が受けられます

保健所でのエイズ検査は、平日の日中で受けづらいもの。港区では、新橋の慈恵医大病院との協力で、HIV、梅毒、クラミジア、淋菌の無料・匿名検査を土曜日の15時から16時まで提供しています。

受け方は、みなと保健所に電話をして、その時に知らされる予約番号をひかえておいて、当日、慈恵医大病院・感染制御部の外来で検査を受けるというもの。

検査結果は、1週間後の14時から15時にふたたび病院に向いて聞きます。

港区在勤・在学・在住のかたのためですが、匿名無料検査ですので、住所を言う必要はないとのこと。

お店でもぜひ、ご紹介・ご利用ください(慈恵医大病院は、本誌13ページ参照)。もし予約がいっぱいでも、HIVマップ「あんしんHIV検査サーチ」(これで検索可)などで検査情報を探せます。

問い合わせ・予約  
みなと保健所保健予防課予防係  
tel:03-3455-4770

## カフェ・イベントTOMARI-GI 3月14,15日 新橋と新宿で開催

バーからの情報発信をサポートする『TOMARI-GI[とまり木]』編集部では、このたびバーのマスターさまやスタッフさまと実際にお目にかかり、交流する場として、都内2か所でイベントを開催します。

今回は、札幌のマスターたちが4年前よりお客さんたちに情報提供を開始した経験を取材させていただき、ビデオにまとめましたので、ぜひご覧ください(札幌の活動については、TOMARI-GI創刊号もご参照ください)。

また、イベントでは、慈恵医大病院(新橋)の吉田先生、国立国際医療センター(新宿)の岡先生という、HIV医療の第一線の先生からわかりや

すいエイズのお話もいただきます。

さらに、札幌から「ときどき通信」のみなさんを迎えてのミニライブもあります。

TOMARI-GIをご覧のマスターさま、スタッフさまは、店舗地区にかかわらず、どなたさまでもご参加歓迎です。入場無料、ぜひ、お越しくださいませ!

**新橋会場**  
3月14日(土) 15:00~18:00  
RED PEPPER(港区新橋3-22-5  
菊ビル3F)

**新宿会場**  
3月15日(日) 16:00~19:00  
ミントール2(新宿区新宿5-11-4 龍  
生堂ビルB1)



ビデオ『さっほろママアソシエーション~札幌ママ達の挑戦』(30分)のほか、エイズ専門医のトークやミニライブなどがあります。

## 梅雨入りまえのお楽しみ 名古屋NLGR、今年は6月6~7日。

HIV啓発とコミュニティ祭り合体型のイベント、Nagoya Lesbian & Gay Revolution(NLGR)は、今年は6月6~7日に開催です。池田公園を会場にさまざまなイベントが展開。近くのカフェでも昼間からカフェ営業などで協力します。

NLGRでは、翌日結果返し

のHIV検査が受けられるのも特徴。会場から少し離れた検査場で、相談体制も充実し、万一のときも安心と、毎年ここで受ける人もいますか。

名古屋へ遊びに行くというお客さまに、ご存知のお店を紹介してさしあげれば、楽しさ2倍ではないでしょうか?

## 編集者のとまり木

新橋のゲイバーを訪問して、マスターやスタッフのみなさんのお話を聞いてから1年以上が経ちました。以来、マスターたちの開催しているスポーツ大会でメッセージカード付きのコンドームを配らせてもらったり、「もっとわかりやすい、知っていそうで知らないHIV／エイズの情報を」という声から冊子が作られたりといった「子どもたち」が産まれたしています。本来は形を持たない「声」が、目に見える形になることって、やっぱりなによりうれしい！ 一軒一軒のお店やサークル、それぞれの街に集う人たちといっしょに、これからもモノや場所やその場の空気を作り出していければなあと思っています。これからもよろしく願っています！

(CHO)

小誌はお店へ3冊ずつお届けしています。お店に1冊保存、その他はスタッフさまみなさんにお分けください。足りない場合は下記連絡先までお気軽に！すぐお届けします。(永易)

### 材料(ごぼう1本で5～6人前)

ごぼう	1本
酢	大さじ4
砂糖	大さじ2
しょうゆ	大さじ2
かつお節	3グラム(1パック)
白すりごま	大さじ2

### 作り方

- 1 鍋に土佐酢の調味料を入れ、沸騰したら、かつお節を入れて火を止め、冷めたらこしておく。
- 2 ごぼうはたわしで皮をよく洗い、4～5cmの長さに切り、太さにあわせて縦に2～4等分し、酢水(水500ccに酢大さじ1)にさらす。
- 3 ごぼうを竹串が刺さるかたさまでゆで、水気を切り、まな板の上に並べすりこぎで軽くたたき、熱いうちに土佐酢と白すりごまとで和える。

※一晩おいて味がよくしみたところがおいしいです。土佐酢の甘味はお好みでいろいろおためしください。調味料の分量は1本あたりです。ごぼうの本数にあわせて倍増してください。大さじ:15cc、小さじ:5cc / ごぼう:1本100円(中野区内スーパー調べ)

春の新しいものを  
ダシの効いた土佐酢で。

# 酢 ごぼう



撮影協力:メゾフォルテ(新宿)

発行:2009年3月1日 編集:TOMARI-GI編集室 イラスト:Miyaken デザイン:加納啓善

連絡先:新宿区高田馬場4-22-46ザ・テラス204号 ぶれいす東京内 03-3361-8964 senryaku.tokyo@gmail.com

本冊子は厚生労働科研「エイズ予防のための戦略研究MSM首都圏グループ」(主任:市川誠一)により編集・発行されています。

 **REAL**  
LIVING TOGETHER